議会常任委員長など改選される

横越村議会では、常任委員の任期が満了したため、さる五月十日の臨時議会で常任委員の選任替えと、あわせて委員長副委員長の選任を行ないました。

これによると、武藤（総文）永木（建設）石倉（議運）の三氏が委員長を退き、新委員長に佐藤惇（総文）杉本（建設）阿部（議運）の三氏が就任し、原（厚経）氏が再任されました。

佐藤 総文委員長　原 厚経委員長　杉本 建設委員長　阿部 議運委員長

総務文教常任委員会
委員長　佐藤　惇
副委員長　入山　敏雄
〃　委員　石倉　八一
〃　〃　佐藤栄太郎
〃　〃　高橋　寿
〃　〃　武藤　昭夫

厚生経済常任委員会
委員長　原　清衛
副委員長　伊藤　栄蔵
〃　委員　浅見　良一
〃　〃　長瀬　一夫
〃　〃　石井可久以
〃　〃　坂井　正四
〃　〃　阿部　由平
〃　〃　佐藤松次郎
〃　〃　佐藤　藤男

建設常任委員会
委員長　杉本治一郎
副委員長　遠藤　左一
〃　委員　横山　清作
〃　〃　別所　正一
〃　〃　藤田　信雄
〃　〃　佐藤　三次
〃　〃　永木徳太郎

議会運営委員会
委員長　阿部　由平
副委員長　入山　敏雄
〃　委員　佐藤　惇
〃　〃　原　清衛
〃　〃　杉本治一郎
〃　〃　遠藤　左一

交通事故指数
県下で二番目に悪い
子どもの死傷者はトップ

県交通対策室は、このほど県内各市町村の交通安全対策について分析結果を発表した。それによると、本村の交通安全対策指数は、県下で二番目に悪いという評点がつけられた。

この分析結果は、昭和四十七年のデータをもとに、事故発生現況交通環境、住民マナー、市町村の対策など四つのポイント十三項目が評価されたもので本村の指数は、二、四九一と高く、県平均の一、三〇〇（一項目一〇〇）をはるかに上まわる悪い結果となった。

特に本村は、住民マナーつまり、飲酒運転、子ども、老人の交通事故、歩行者の事故などが多く、県平均の三倍である。

その中で、子どもの死傷者指数（七〇一）は、県下のトップである。

村交通安全協会は、「今回の分析結果をもとに抜本的な対策をしなければならない。また、住民一人一人が交通規則を守って、交通事故のない明るい村を築くための村民総ぐるみの安全運動を展開してゆきたい」といっている。

交通安全対策指数の調査結果

区分	発生現況	交通環境	住民マナー	市町村対策	合計
県平均指数	400	400	400	100	1,300
本村の指数	590	580	1,209	112	2,491
評価	● やや悪い	● やや悪い	× 悪い	△ 普通	

〜47年度優秀農家決る〜

村では昭和四十五年から村内の農家で、経営内容と生産技術が特に優れ他の農家の模範となっている農家を村の優秀農家として選定し表彰しています。

昭和四十七年度は各農業団体から推せんされた七名の中より審査員が規定に基ずいて調査審議した結果、前記三名が昭和四十七年度の優秀農家に選ばれました。

今回推せんされた農家の特徴は、米単作から脱皮して果樹、酪農等独特の技術を要する部門の農家が多くありました。

今度選ばれた三農家はいずれも自己の経営目標を設定し、おかれた立地条件を最高度に生かして経営面、技術面とも立派な成績を挙げています。

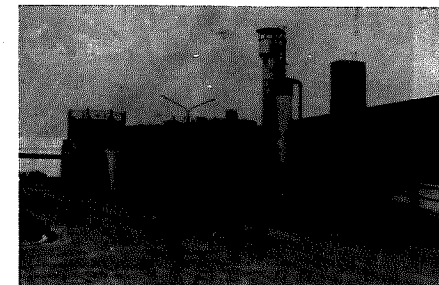
☆仲村忠雄（二本木）　果樹 稲作
☆高橋達夫（横　越）　稲作 酪農
☆熊木勉衛（二本木）　果樹

新潟地区広域清掃組合の舞平し尿処理場が竣工

新潟、亀田、黒埼、横越の四市町村共同で建設していた尿処理施設「舞平処理場」が、さる三月完成し、四月十一日新潟市平賀の現地で関係者が多数参列して盛大な竣工式を挙げました。

この施設は、総事業費九億七千万円余をかけて作られ、四万四千平方米という広大な土地を利用し、一日二百キロリットルを処理できる活性汚泥法が採用されています。

なお、今後場内は緑地に整備し、養魚池等も作られる予定です。



近代的設備の舞平し尿処理場

県勤労者住宅資金貸付条件等を改善

昭和四十八年度新潟県勤労者住宅資金貸付制度が、一部改正され貸付条件が改善されました。改正点は、年利八・六%が、七・五%に、借入申込者の年間所得が、（家族収入も含む）八十万円以上二百万円未満の者を、八十万円以上二百五十万円未満になりました。

なお、貸付要額は次のとおりです。

融資をうけられる方

県内の事業所に雇用される勤労者で次のすべてに該当するもの。

1. 自分で住む家を新築、改築、増築又は購入する場合。
2. 住宅事情の困窮度合が高いもの。
3. 年間所得が、おおむね八十万円以上二百五十万円までのもの。（ただし八十万円未満のものは家族収入を加算できる）
4. 他に住宅資金の調達が困難であるもの。

貸付条件

1. 貸付金額三十万円以上百万円までの十万円きざみ
2. 利率　年　七・五%
3. 償還方法　十年以内の元金均等の月賦償還

申込書類

取扱金融機関、又は労政事務所にあり。

融資取扱金融機関

第四銀行、北越銀行、新潟相互銀行、大光相互銀行の本支店

お問い合せは

新潟労政事務所
新潟市白山浦一
電話(0717)番

申込受付

昭和四十八年五月一日から十月三十一日まで（融資枠を超えた場合打切もある）

連P会長に佐藤松次郎氏

横越村連合PTAは、去る五月九日評議員会を開催、正副会長の選任及び今年度の事業計画及び予算について審議しました。

会　長　佐藤松次郎（横中PTA会長）
副会長　遠部　利春（横小PTA会長）
〃　江口　正己（横越中学校長）

村税条例改正等を可決

五月臨時議会が十日開催され、任期満了した各常任委員の選任や、村税条例の一部改正等の議案を審議可決しました。

当日可決した議件は次のとおり。

一、常任委員の選任について（別掲のとおり）
二、常任委員長、同副委員長の選任について。（別掲のとおり）
三、消防委員の推せんについて。（別掲のとおり）
四、工場誘致委員の推せんについて。（別掲のとおり）
五、村職員の休日休暇に関する条例の一部改正について。（原案どおり承認可決）
六、村税条例の一部改正について。（原案どおり可決）

以上の外、議席の一部変更を行ない午前十時十分臨時会を閉会しました。

5月臨時議会

引続いて全員協議会を開き村長から次の事柄について報告があり、議員からも意見や要望がだされた。

一、統合校舎建設の基礎工事について

三か所ボーリングした結果地盤が軟弱のため三十七米まで安定した地層がないので、三工法のうち事業費が嵩むが安定性があること、村負担が実質的に少なくなるため等の理由から検討の結果、基礎杭は現場打にすることにした。従って杭打の騒音や、振動はさけられる見込である。

二、桃山地区の水道について

木原水道企業団に加入申込をしているが、当初予定より大巾な経費負担があるため、議会等と協議していく。

三、都市計画の市街化編引について

第一次線引の際、問題の出た所を処理する程度に留めたい。

四、ゴミ処理の広域事業について

新潟、亀田、黒埼、横越の四市町村共同で、亀田町に大規模ゴミ処理施設を、二十六億円の事業費で建設することとなり、二万坪の用地買収に入っている。

以上の報告について各議員からおおむね次のような意見と要望がだされました。

○学校建設は一大事業であり入札等に当って疑惑をもたれないよう慎重を期されたい。

○学校建設による財政上、住民福祉面の施策を従来どおり続けてほしい。

○市街化区域の再線引について、農家の余剰労力を吸収させ所得向上等を画るため又乱開発等を防ぐため、市街化編入について積極的にとりあげてほしい。

◎消防委員（四）
藤田信雄
高橋　寿
佐藤　惇
長瀬一夫

◎工場誘致委員（八）
佐藤藤男
横山清作
石倉八一
佐藤栄太郎
長瀬一夫
坂井正四
別所正一
佐藤三次